**【経済学研究科　全コースＣ方式用】**

**「研究計画書」は、書類選考における選抜の主要な判断材料であるだけでなく、口述試験においても重要な資料となります。書類選考と口述試験においては、①大学院進学の動機と学修意欲、②問題意識の明確性、独自性、③基礎学力、などが主な選考基準となります。以下の各項目について、あなたの考え方が十分に伝わるように書いてください。**

**こちらの研究計画書は、MS明朝体でフォントサイズは10.5で入力をして下さい。**

**(１)から（５）の質問に、入力を終えたらそれぞれ文末に文字数を入力してください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 受験番号 | ※ |

※欄は記入不要

|  |  |
| --- | --- |
| フリガナ |  |
| 氏　　名 |  |

|  |
| --- |
| 1. 大学院の進学の動機、目的、または、意義(500字以上700字以内)   これまでの学生生活、職業生活、あるいは、知的体験一般との関連で大学院を志望するようになった動機または理由について書いてください。  また、今後の進路や生活設計との関連、家庭生活・地域生活の充実、あるいは、自己実現、など、大学院進学がもつ意味をあなたの場合に即して具体的に書いてください。 |
|  |
| 1. 研究テーマとアプローチ（接近方法）（700字以上1,000字以内）   研究テーマとそれを選んだ理由を書いてください。次に研究テーマへのアプローチ（接近方法）について考えることを書いてください。例えば、理論分析、学説（思想）史分析、歴史分析、現状・政策分析、国際比較、地域研究、ケース・スタディ、などの多様な接近視角があります。あなたは、どのような視点から研究テーマに接近しようと考えているのか書いてください。  また、その場合、文献研究、統計データの解析、フィールドワーク、その他、あなたが主として拠ろうとしている研究の手法についても、書いてください。  あわせて、研究を進めていくために現在、どのような知識が不足していると考えているか、また、大学院進学後にどのような授業を履修することで必要な知識を習得しようと考えているのか、をできる限り具体的に書いてください。 |
|  |
| 1. 大学の学部や大学院、社会等で学んだ内容と研究テーマの関連性（300字以上500字以内）   これまで学部や大学院で研究テーマに関連してどのような専門科目を履修したのか、また既にどのような知識を習得できているのかを具体的に記述してください。ゼミナールを履修していた学生はゼミナール担当教員の専門分野、ゼミナールの活動内容についても記述してください。社会人の志願者は職場などで修得した知識と研究テーマの関連性を書いてください。  これまで発表した論文(卒業論文、修士論文等を含む)、レポート、著書などがあれば、そのタイトル、掲載誌などを記し、内容を簡単に書いてください。 |
|  |

|  |
| --- |
| (4)研究を進める上で、必要と思われる専門知識や専門科目指導教員について（400字以内）  どのような理由で指導教員を選定したのか、また指導教員からどの様な研究指導を受けたいと考えているのか、を書いてください。 |
|  |
| (5)経済学に関する読書体験（400字以内）  大学院進学に際し、あるいはこれまでの学生生活、職業生活に影響を受けた特筆すべき本などの感想を述べてください。 |
|  |